

(参考) 前時における指導 (「群馬県の自然と暮らし」の学習の導入として)

- 1 ねらい 群馬県の産業と人々の暮らしを学習していく見通しをもつ。
- 2 準備 教師 学習プリント、上毛カルタ、群馬県白地図、「草津節」テープ (日本語)  
児童 はさみ、のり
- 3 展開

学習活動	時間	学習への支援及び留意点	評価
1 本時の学習を確認する。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上毛カルタにうたわれた県内のいくつかの場所を探し作業をしながら、群馬県内の人々の暮らし方も地域によって違うことを意識できるようにしたい。</li> </ul>	
<b>上毛カルタに書かれた場所を地図からさがしながら、これからの学習の課題を作ろう!</b>			
2 上毛カルタに書かれた場所を地図で探して学習プリント (群馬県白地図) に貼る。	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の札を地図で探し、群馬県の白地図に貼る。取り上げる絵札は次の6枚。山地から4枚、低地から2枚取り上げる。山地の4枚と、低地の2枚は違う色の紙 (山地は茶色、低地は緑色) に印刷しておき、分類の観点を考えながら作業ができるようにしておく。</li> <li>山地として                嬭恋村 (「浅間のいたずら鬼の押し出し」)                片品村 (「滝は吹割 片品溪谷」)                水上町 (「水上谷川スキーと登山」)                吾妻町 (「耶馬溪しのぐ吾妻峡」)</li> <li>低地から                太田市 (「太田金山子育て呑龍」)                館林市 (「花山公園つつじの名所」)</li> </ul>	
3 6枚の絵札の位置を掲示用の群馬県白地図で確かめながら分類の観点を考え、これからの学習の見通しをもつ。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色別された意味を考えながら、黒板の白地図に絵札を貼る。また、その土地の様子を写真で確認していく中で、同じ県内でも場所によって人々の暮らし方が違うことに気付くようにする。</li> <li>【予想される児童の反応】                茶色の絵札 (山地)    緑色の絵札 (低地)</li> <li>・山地                    ⇔    低地</li> <li>・山が多い              ⇔    少ない</li> <li>・人が少ない            ⇔    人が多い</li> <li>・冬、寒い              ⇔    それほど寒くない</li> <li>・交通が不便            ⇔    交通が便利</li> <li>・買い物が不便        ⇔    便利</li> <li>・田が少ない            ⇔    田が多い</li> <li>・畑が少ない            ⇔    畑が多い</li> <li>・スキー場がある      ⇔    スキー場はない</li> <li>・温泉が多い            ⇔    温泉が少ない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵札が山地、低地という観点別に分かれていることを確認し、これからは玉村町とは地形などの自然環境が違う「山地や低地の人々の暮らし」を学習していくという見通しをもつ。</li> <li>・学習する順番として、はじめに「山地に住む人々の暮らし」を、次に「低地に住む人々の暮らし」を取り上げることを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県の産業と人々の暮らしを学習していく見通しをもてたかどうかを、学習プリントの内容分析や、分類の観点を話し合う様子から判断する。</li> <li>(思考・判断)</li> </ul>
共通課題		<b>山地に住む人々の暮らしを調べよう</b>	

<p>4 山地の人々のくらしは玉村町と比べてどんなところが違うか予想する。</p>	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶色の絵札（山地）と緑色の絵札（低地）の分類の話合いで、山地のくらしの特色にかかわる発言が多く出れば、ここでは玉村町は緑色の絵札（低地）の仲間に入ることを確認するだけとする。 (予想される反応)</li> <li>・買い物が不便。・自然がたくさんあってくらしやすい。・冬はスキーとかができる。・温泉がある。・学校へ通うのが大変そう。</li> </ul>	
<p>5 「草津節」を聞き、山地にある多くの自治体から「草津町」を選んで学習していくことを知る。</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「草津節」をテープで聞き、山地にある多くの自治体から「草津町」を選んで学習していくことに興味をもてるように工夫していく。</li> <li>・草津町は山地の特色を多くもちあわせる町であることから、山地の代表として取り上げることを話す。</li> <li>・プリントに草津町の絵札を貼る。</li> </ul>	
<p>6 実際には行けない場所を調べる方法を知る。</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の学習単元から地理的範囲が広がり、取材等に簡単には行けなくなる。そういったときの調べ方を教科書等で知る。また、資料請求の見本として、教師が教室内から草津観光協会へ電話をし、『観光要覧』の資料請求をする。</li> </ul>	
<p>7 本時のまとめと次時の予告</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草津町の特色となる社会的事象を写真を交えて紹介した模造紙を教室内に掲示しておくので見ておくように話す。</li> <li>・草津町はどんなところなのか、家の人から聞いてくるように伝えておく。</li> </ul>	

・学習の様子(黒板)

